

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

生涯学習がこれからのカギになる

リンダ・ブラットン (英ロンドン・ビジネススクール教授、「ライフ・シフト」著者)

1. 100 年時代の人生に人々が悲観的になるのは、60 歳までは健康でいられたとしても、その先の 40 年は病気を抱えて生きる、といったイメージを持つからだ。でも、それは現実とは違う。長寿化した人生で、もっと多くのことをする機会が与えられている。これが、100 年時代における「ライフ・シフト」のポイントだ。
2. これまで、フルタイムで教育を受け、フルタイムで働き、退職してフルタイムの年金生活になるといった 3 ステージの人生で問題はなかった。でも、それではもう、うまくいかない。特に日本のように高齢化が進んだ国では今後、3 ステージの人生が急速に崩れていくのを目の当たりにするだろう。
3. 「ライフ・シフト」では、おカネに換算できない「目に見えない資産」の重要性を強調しているが、その基本的な考え方は、働く人がより健康で活力的で、生産的になれるよう変化を助けていくこと。これが新しい時代のあるべき姿だ。
4. 日本企業は人材育成にかかる費用を減らしてきているが、これは間違っている。生涯学習がこれからのカギになるからだ。高齢化とテクノロジーの進化という二つのトレンドによって、かつてない変化が起きている。人生を通じて学び続ける以外に道はない。

(参考:「週刊東洋経済」2017 年 12 月 30 日、2018 年 1 月 6 日号)

経営者のための営業学

旅館の再生法

1. 「ついに別府にも大江戸ができたのか」。大江戸温泉物語 (売上高 418 億円)、湯快リゾート (売上高 164 億円)、伊東園ホテルズ (売上高 221 億円) の三大格安旅館は温泉街の救世主でもあり、破壊者でもある。3 社は経営難に陥った旅館を買収し、独自の運営モデルで店舗数を拡大している。
2. 再生に導くビジネスモデル 5 ケ条…(1)バブル期建築の物件を買収し、居抜きで初期投資を抑える(2)中高年グループをターゲットにして、平日の稼働率を維持(3)仲居はおらず、客のセルフサービスでコストを最小化(4)朝夕とも種類豊富なバイキングで、老若男女の好みに応える(5)1泊2食で1万円前後。気軽に行ける価格でリピータを生む。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2017 年 12 月 9 日号)

ワンポイント経営アドバイス

仕事はすべて約束である

松本 晃 (カルビー会長兼 CEO)

1. 私はカルビーの会長に就任した際、「松本の 10 の考え方」を社内に示した。「人の評価はフェアに」「現状維持即脱落」「正しいことを正しく」等。その中で最も大事なものとして「コミットメント&アカウントビリティ (約束と説明責任)」を挙げている。仕事は全て約束であり、その約束に責任を取るということだ。
2. 多くの人は、生産性を上げるために新しいことをしようとするが、ムダなことをやめる方がはるかに効果が大きい。企業の基本はやはり売り上げを伸ばして、利益を上げること。「コミット&アカウントビリティ」にこだわり、ムダな仕事はやめ、必要なものに集中すれば必ずそれは達成できる。たとえ数字上の業績は伸びていても、この基本が揺らいでいたら先は危うい。

(参考:「日経ビジネス」2017 年 12 月 25 日・2018 年 1 月 1 日号)

古典に学ぶ

大事に処するには

「大事に処するにはいかにすればよいか。余は次のごとく答える。すなわち事柄に対しいかにせば道理に契うかをまず考え、しかしてその道理に契ったやり方をすれば、国家社会の利益となるかを考え、更にかくすれば自己のためになるかと考える。そう考えて見た時、もしそれが自己のためにはならぬ、道理にも契い、国家社会をも利益するということなら、余は断然自己を捨て、道理のあるところに従うつもりである」

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)